

研究会会員の皆様、こんにちは。随分寒くなってきましたね。風邪などひいておられませんか?

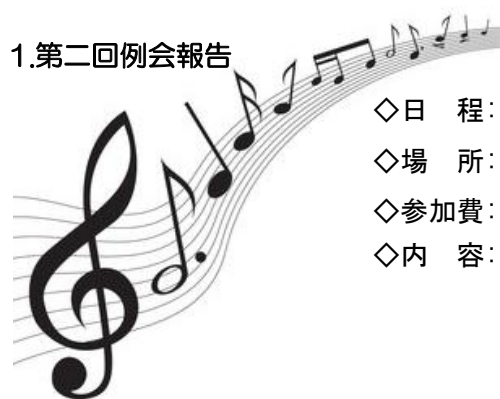
木々も色づいてきました。そして、昼も夜も、空がとってもキレイです☆

さて、会報2号でございます。お待たせ?してますでしょうか?

皆さんも、何か載せたいこと(告知、連絡、紹介など)、そしてご意見・ご感想などありましたら、ご連絡下さいね。

- 目次
1. 前回例会報告
 2. 伝言板とコラム
 3. 次回例会案内(次回は11/18。京阪三条か東山近くの「東山いきいき市民活動センター」にて行いますよ。)
 4. 編集後記

1. 第二回例会報告



◇日 程: 2012年8月25日(日) 13:30~16:30

◇場 所: 京都市上京区の東光寺

◇参加費: 一人 300円

◇内 容: **実践現場でやっていることの理由を言葉で説明できるようになる方法**
~絶対に「説明できるようになる」という保障は無いけれど

「私の場合の試行錯誤」の過程~

話題提供者: 高石公資さん

○参加人数 15名

○会計報告 300円(参加費1人分) × 15名 = 4,500円

50円(資料コピー代1人分) × 15名 = 750円

○感想

まずはお忙しい中、貴重なお話をして頂いた高石さんと今回の例会に場所を提供して頂きました水野さんにお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

「枠に当てはめるだけの音楽療法ではなく、自分で説明出来るセッションを考える」というのはまだまだ音楽療法をはじめ長くやっていない私ですが、自分自身の行っているセッションや音楽療法に対して再考察し再確認するととても良いきっかけになりました。

体験談を交えてのお話はわかりやすく「うんうん」と頷いてしまうことが多かったです。クライアントだけでなくセラピストとクライアント一緒にいてセッションが成り立つ。ある行為をする自分を自分がしっかりわかっていること。段階を進める要素(ARE)・・・等々。資料に「私の伝えたい内容をそれなりに伝えるためには、8時間近い時間が欲しいところ。」と書かれていたのですが、時間があればまだまだお話をお聞きしたいと思いました。

試行錯誤の真っ最中な私ですが、例会でこのようなお話が聞けてちょっと前進する糸口になった気がします。(今回会計:松原寿子さん…きれいな画像も!)

高石さんからたくさんの資料をいただきました！

「私の実践とその背景としての理論」というタイトルでお話していただいたのですが、やっぱりすごくわかりやすく、まとまっていて、人に伝える時にはこういう風に言ったら伝わりやすいのか～、説得力があるのか～などと思いながら聞いていました。

ただ、このようなお話を他の「音楽療法講座」でもしているということだったので、「え～～この話、音楽療法始めたばかりの人にも言っちゃうんや～。」とも思っていました。

たぶんこれご本人にも言いましたよね、私（笑）。

なんかね、実践重ねながら、紆余曲折してたどりつく事柄なのかな～っていう感じもしたので・・・。

資料の最初に

『当日、私の話を聞いて、その日の夜、あるいは2, 3日後に、まだあなたの中に残っているイメージがあれば、好印象であっても悪印象であっても、それがあなた自身の価値観を確認するためのキーになることだからなのだと思います。そこから、あなた自身の臨床実践者としての基本理念を明確に言語化する第一歩が始まるのです。』

とありました。

例会からしばらくたちましたが、皆さまいかがでしょう？「基本理念」言語化できました～？ (K.H)

《高石さんより…》

東光寺をお借りしての第二回の例会……、直接的な参考になったかどうかは分かりませんが、今後の実践活動の場面で気づかないままになったかもしれないことに気づくきっかけにはなったのでは無いかと考えています。

多くの講演や研修会では「どうしなくてはいけないか」「どうするのが良いのか」ということが語られることが多いのですが、「(自分、セラピストが) 何をしたいのか」に着目するきっかけを与えてくれる機会は少ないように感じていましたので、それなりの勢いで伝えさせてもらいました。

当日、コピーして配布していただいた資料の内容を、そのまま参考にしてもらっても良いのですが（使い方としては、その方が一般的ではありますが）、それを読んでいる自分の中に沸き起こってくる感覚に注目してみたいのです。「その通り……」と感じているのか「そうかな……でも……」と感じているのか、それが手がかりになって「自分自身が、何をしたいのか」が意識できるはずです。

とのことです。

高石さん、ありがとうございました。

行った皆さんは、持ち帰るもの（頭と心と資料）が多かったようで、「感想が書けません」との声も…。

会場の東光寺での会がとても素敵だったそうで、水野さん、ありがとうございました！

またいつかよろしくお願いしますね～。

それから、受付&会計の松原さん、その他準備や当日の諸々の勝山さんと古儀さん、ありがとうございました。



2.伝言板とコラム

伝言板

♪山田悦子さんより ***お譲りします***

いつも、お世話になっています。

突然ですが、現在、家にある日本音楽療法学会誌を諸事情により、処分しようと思っています。

もし、必要な方がいらっしゃいましたら、お譲りできないでしょうか？

日本音楽療法学会誌（2001年～2009年 18冊）と

近畿音楽療法学会誌（2006年～2009年 4冊）です

…とのお申し出をいただきました。ありがとうございます♪。

どちらも、第一号からだと思われます。貴重ですね～。

「欲しい!」と思われる方は、事務局北田宛にメールでご連絡ください。（締切は11月中）

→山田さんのご連絡先をお教えする→直接連絡をとっていただく

という流れにしたいと思います。送料のご負担等はもらえる方がお願いしますね。

♪北田より ***新年会しましょうよ～***

前号で大空さんから「月例会(飲み会)のお知らせ」がありましたが、その拡大バージョンとして、「新年会」を考えています(まだ私だけです…)。

なかなか普段は出られない方も、お正月ならば出やすい方もおられるのではないかと(逆ににくい方もおられるでしょうか)などと考えた…と言えば聞こえがいいのですが、つまりは私北田が久々に京都に戻るので皆さんに会いたい!ってことだけです(^_^)。

言いたしっぺですが、遠方故幹事はどなたかをお願いしようと思います。「私やるよ～」という方、ご連絡ください(おられなければむりむり依頼します…)。

とりあえず日程です!

2013年1月4日(金)

です! 行く!or 気になる…という方、ご連絡ください。連絡のあった方だけに詳細をご連絡しますので。2人以上ならば決行いたします!! 途中参加とか途中抜けもアリかと。

昼間なら行けるのに…とかいう方がおられたらそれも念のためご連絡ください。もしかしたら昼間っからやることもアリですね。よろしくお願いします。

コラム

「日本音楽療法学会に参加して思った全く個人的な考え～私(たち)やっぱり少数派なのかなあ」

北田 朋子

9月に宮崎であった、「日本音楽療法学会」の大会に参加してきました。少し思ったことがあり書いてみました。自分の意見を公表するのはこわいけど、がんばって書いてみました。怖い故に比喩だらけになってわけがわからなくなりましたが…。

講習会は、好きな先生ばかりだったので、自分の中で消化できないこともたくさんあるけれど、それなりに満足でした。

その後ある発表で、あるちょっとした出来事がありました。そのことと、それを巡っての色々な人の反応や処理から、考えさせられたのです。これまでも、私(たち)って少数派なのかな?とか、以下のことも

考えたりしていたのですが、それが今回あらためて決定的に感じました。今思い返すと、2つにまとめられるかなと思います。

- ・ 自分は、たとえば「黄色い羊」だったとして、ただども、白や黒や、赤や青の羊さんが居てもいいし、居るからいい。

だって人間色々カラフルだし、つまりはクライアントさんもカラフルだものと思っています。しかしそれが、そのように考えること自体が「少数派」なのだということ。

つまり、「黄色」が少数派とかどうとかいう以前に「黄色や黒や白や色々あるよね～」と言うことそのものが、ある一つの少数の「派」になってしまうんだということ。だから、「白が○なら黄色や黒は×」、「もし黄色を○とするなら白は×になる!」という考えが多いように感じました。

- ・ コンセプトがずれないことが大事と思うのが「少数派」なの?ということ。

「初めに決めたやり方」ではコンセプトがずれてしまいそうになり、そこで「初めに決めたやり方」より「コンセプトをずらさない」ことを選択した人が居て、私はそれに賛同していたのだけれど、それへの反対者が強くおられたということ。「コンセプト」よりも「見栄え」が大事なのかもなあと思いました。

何よりも残念だったのは、そういうことを色んな意見として語り合う場が出来えない雰囲気ということ。○か×か。良いか悪いか。みたいな。

「黄色」い人たちとは語り合いましたが、そうやって「派」の壁が強固になるということも、私としては本意ではないのに…。

ただ、終了後にはそこここで話がされていて、ある意味そのような波紋があったことはいいことかなとは思いました。「語り合う」ということは、何よりの出発点のような気がするのです。

それから、この研究会の在り方が、自分では「普通」と思いつつ、でも何となく主張したいこととしてあったけれども、もしかするとかなり特殊なことであり、それは自分がとても大事にしたい形であり、それを言い続けたいし、意味があることなのかもと実感したのです。

3.次回例会

京都音楽療法研究会 第3回例会のお知らせ

みなさま、こんにちは！すっかり秋ですね。いかがお過ごしでしょうか？私は味覚狩りを計画中です。

さて、次回の例会のお知らせです。紅葉も見られ始めるころでしょうか。

日 時：2012年11月18日（日） 13:30～16:30 ※受付 13:10～

内 容：①13:30～ フリータイム

※「雑談」「セッションの公開打ち合わせ」「〇〇さんの話を聞こう!」など、来られた方がお好きに使っていただいてもいい時間にします。とにかく「場所は開いてるよっ」ということのみです。ピアノはないですが歌を歌うのはおそらくOKです。

②15:00頃～ 話題提供者 水上恵美さん(下記参照)

申 込：11/14(水)までにメール(研究会宛。上記参照。)or ハガキ(畑陽子様宛)にて。

《大事なこと》お申込なしに来られた方には、資料等の用意が出来ません。そんな場合は、資料原本を、受付でお貸ししますのご自分でコピーに行ってくださいね♪
逆に申し込んでいて来られなくなった方には、資料の用意をしております。
なので買い取りをお願いしますね♪

☆何と言っても前とは違い、スタッフも何もかも手弁当ですのでご協力の程よろしく申し上げます☆

参加費：場所代(400 円)を、参加者で割ります。別途、資料コピー代がかかることがありますので、小銭をご用意してご参加くださると助かります。

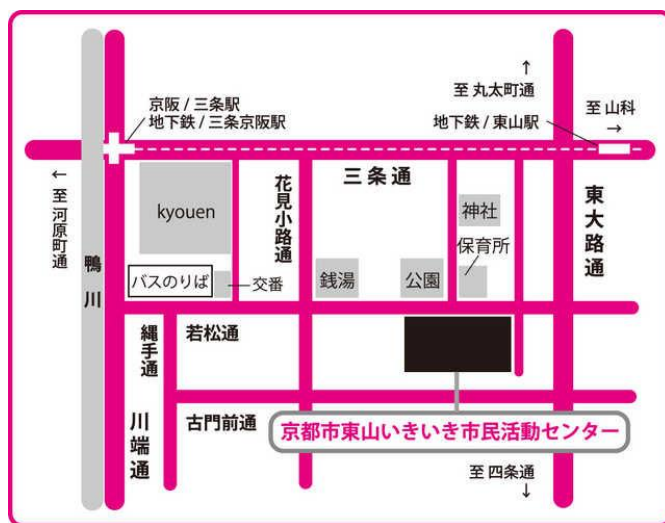
場 所：東山いきいき市民活動センター1F 会議室 3

東山いきいき市民活動センター 〒605-0018 京都市東山区花見小路通古門前上る巽町450番地
(花見小路通古門前上る東入る南側。保育所と公園の向かい側にあります。)

■最寄駅・バス停■各駅、停留所より徒歩5～7分です。

【京都市営地下鉄東西線】三条京阪・東山 【京阪本線】三条

【京都市バス】5, 12, 46, 100, 201, 202, 203, 206 系統 … 東山三条
5, 10, 11, 12, 59 系統 … 三条京阪前



さて、気になる第3回例会のテーマは、こちらです。

続けることにこだわって

話題提供者：水上恵美さん

昨年3月11日の東日本大震災後、「～音楽でつなげよう 届けよう音楽～プロジェクト」を起ち上げました。プロジェクトといっても小さな規模の、細々とした活動です。

3.11の映像を見ていて、5年後、10年後もできる活動を、と始めたのがチャリティーライブでした。ライブをし、岩手や宮城に音楽の出前をする中で見たこと、感じたことをお伝えしたいと思います。

水上さんのチャリティーライブ、何度か行かせていただいています。すばらしい演奏はもちろんのこと、人のぬくもりを感じる本当にあたたかい空間です。震災の直後から、「続けること」にこだわって考え、行動されてきた水上さん。静かに強いその思いに触れる秋のひとときは、みなさまの心にどんな風に沈殿するでしょう。

ぜひぜひ、ご参加ください♪

(今回例会担当者代表 山本知香)

4.編集後記～下関だより～

今回、私はたくさん色々書いてしまいましたので、編集後記はおとなしくしておきます…。

こちらに来て、空を見ることが増えたような気がします。以前はずっと8階が職場で空に近かったのですが、なかなかゆっくり見ていなかったように思います。一日として同じ雲の形はなく、刻々と移り変わります。「変わるもの」と「変わらないもの」についての考えが今までと変わってきていることもあり、そんなことを思ったりします。「自分の心」って、以前はそんなに日々変わらないもののように思っていました。が、そんなことなく、空のように、毎日色々な天気色々な様子なんだなあと思うようになってきました。そんなことはもしかして当たり前ですか？皆さんの今日の心のお天気はどんなですか？